

JIG SAW

変速ジグソー

SJS-500 取扱説明書





このたびは変速ジグソーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「注意」を必ず守って下さい。
- ご使用前に、この「注意」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。

注意

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・作業中、本機工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、防じんマスクを着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
 - ・感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 注意

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切して下さい。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
 - ・ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないで下さい。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いて下さい。
 - ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

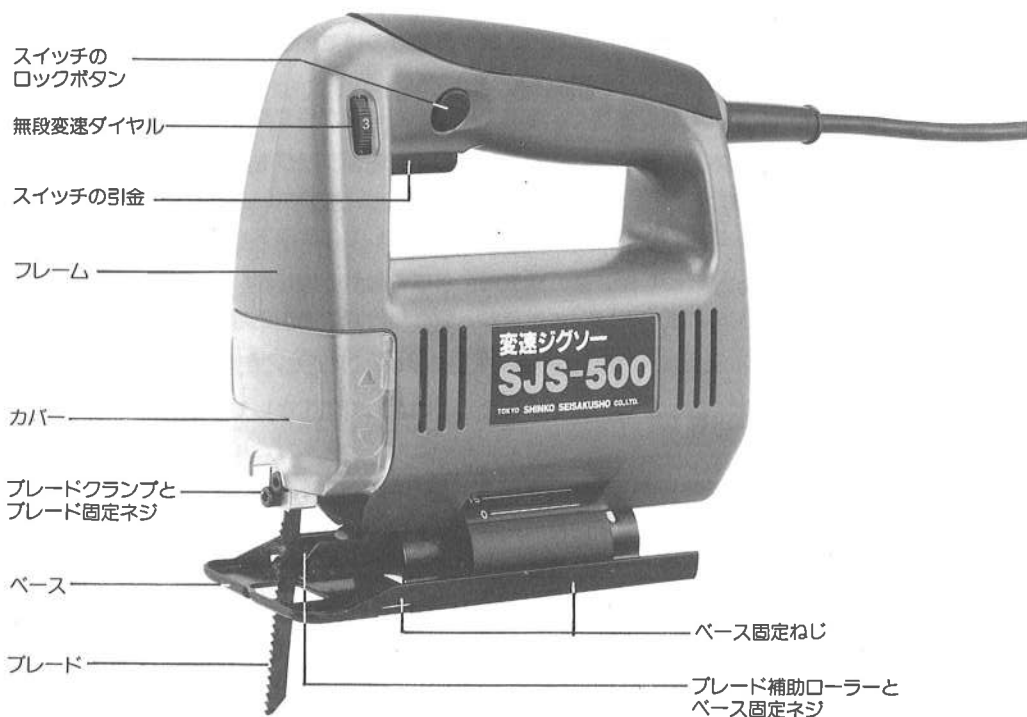
⚠ 注意

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
 - ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
 - ・コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
 - ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に慣れない人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工して下さい。
 - ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
 - ・不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
 - ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用下さい。
 - ・使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用下さい。
 - ・切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
 - ・修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

■部品の名称



■付属品の明細

部品名	寸法	用途	数量
ジグソー用ブレード	巾8×長85%	鉄工用	1枚
〃	〃	新建材、プラスチック等用	1枚
〃	〃	木工用	1枚
六角レンチ	3%	本機のベースの角度調整用	1本

注六角レンチは本機の後面に差し込んであります。

■仕様明細

型番	SJS-500	ストローク	19%
電圧	100V	ストローク数	800~3,200回/分
周波数	50/60Hz	二重絶縁	回
定格消費電力	460W	重量	2.1kg
定格消費電流	4.8A		

■ジグソーの使用上のご注意

- ブレードをブレードクランプに正確に固定して下さい。
- ベースをご希望の角度に合わせて固定用イモネジを六角レンチで締めつけて下さい。
- 使用直後のブレードは熱くなっていますので絶対に手をふれないで下さい。
- ブレードが動いているときは材料から本機を引き離さないで下さい。必ずスイッチを切り、ブレードの動きが完全に停止してから本機を持ち上げて下さい。
- 本機的能力以上の材料を切断したり、中空の材料の切断はブレードが折れやすく危険ですので避けて下さい。
- 床、壁、天井等の作業をするときは事前にその内部に配線、配管の有無を確認の上、感電等の事故が発生しないように注意して下さい。
- 切断が終わりましたら直ちにスイッチを切り、ブレードが完全に停止してから置くようにして下さい。

■延長コードについて

- 延長コードを使用するときは本機を最高のエネルギーでご利用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くご使用下さい。
- 延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ(公称断面積)	コードの長さ
0.75m ²	20m
1.25m ²	30m

■ブレードの取付方法

④ブレードホルダーの前に透明の保護カバーがついています。ブレードをセットするときは、移動させて下さい。作業するときは下に移動させて下さい。

- ブレードホルダーについているブレード固定ネジを六角レンチでゆるめて下さい。間隔は約6m/mでブレードがスムーズに入るようにして下さい。



図2

⑤六角レンチは本機の後面に差し込んではいけません。

- ブレードの刃を前向にしてブレードホルダーの内側の溝にブレード差し込んでストップの手前で止め固定ネジを締め付けて下さい。

⑥ストップ上にブレードをのせるとブレードは傾斜する、又、ブレードホルダーの外にブレード取付部が出ますと作動時、モーターの回転が停止して故障の原因となります。

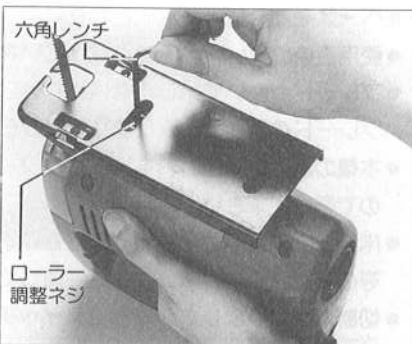
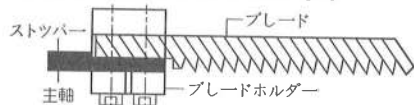


図3

■ブレードの補助ローラーの調整

- ベースの裏側についているブレード補助ローラーとベース固定ネジ（前部）をゆるめ、ブレードの後部にローラーを軽く押し当て、固定ネジをしっかりと締めつけて下さい。 図3参照

■スイッチの操作

⑦電源を入れる前にスイッチの引金を引き、離すと引金に戻るかをご確認下さい。

- スイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。
- スイッチの引金を引いてロックボタンを押しますと、スイッチの引金を離しても連続運転します。停止させるときは、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離して下さい。

図4参照



図4

■無断変速ダイヤルの操作

- 無断変速のダイヤルに①～⑥の表示がついています。

①の表示は約100回/分で⑥の表示は約3,000回/分です（中間は無断で変速します）。

材料に合わせてダイヤルを調整して下さい。

図4参照

■ベースの傾斜方法

- ベースを傾斜させるときは、ベースの下部についている2ヶ所の固定ネジをゆるめ、ベースの角度を調整して下さい（左右45°まで）。
- 角度は傾斜目盛板を参考にして下さい。
- 調整が終了しましたら2ヶ所の固定ネジをしっかりと締めつけて下さい。 図5、図6を参照



図5



図6

■切断方法（図7参照）

- ブレードは切断する材料に合ったものをご使用下さい。
- 切断を始めるときは、ブレードが切断材料にあたらなとこでスイッチを入れ、次にベースを切断する材料に密着させ、切断して下さい。

⑧ベースが材料から離れた状態で使用しますと、正確な切断ができません。又、ブレードの折損の原因となります。

⑨切断するときは無理に押さずにゆっくりと進めて下さい。無理に早く進めると切断面がきたなくなり、ブレードの折損の原因となります。

- 切り抜きの場合は、ブレードを入れる穴をドリル等であけ、その穴の中にブレードを入れて切断して下さい。

⑩金属等のかたい材料を切断するとき、ケガキ線の上に切削油を塗っておくか、又は切断中にブレードに切削油を塗ってご使用下さい。

■保守、点検

- 作業が終了しましたら切りくずを取り除き、乾いた布できれいにふいて湿気の少ない、お子様の手のとどかないところに保管して下さい。
- 本機が正常に作動しないとき、又、修理のときは販売店又は当社までご連絡下さい。



図7